

2011年3月11日
株式会社パスコ

(おしらせ)

陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)の運用参加について

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:杉本陽一、資本金:87億円、セコムグループ、東証1部)は、「2011年度~2012年度ALOSの後期利用段階終了以降の運用」について、独立行政法人宇宙研究開発機構(JAXA)様より2011年4月から2年間の運用企業として選定を受けました。

今回の選定により、パスコはALOSのミッション運用を行うと共に、ALOS撮影画像データ(2011年4月1日以降撮影分)の総代理店として2011年4月1日より、日本国内はもとより全世界へ提供します。

なお、ALOS画像の提供に関する詳細(画像の提供方法、提供する製品等)は、2011年4月1日以降発表いたします。

※ 陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS:Advanced Land Observing Satellite)は、2006年に打ち上げられた地球を観測する人工衛星(陸域観測技術衛星)で、地球規模の観測を高精度で行うべく、地球観測・災害状況の把握・資源探査のほか地図作成など、幅広い分野で利用するために開発されました。

※ ALOSは、2011年1月に運用開始から5年が経過しました。

■本件に関するお問い合わせ

株式会社パスコ 衛星事業部 03-4570-3065

以上